

名古屋大学大学院生命農学研究科
応用生命科学専攻天然物ケミカルバイオロジー研究室助教公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科応用生命科学専攻天然物ケミカルバイオロジー研究室
3	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] 名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。 応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための教育研究を進めることにより、食・環境・健康の増進・向上に貢献することを目指した教育と研究を行っています。その中で天然物ケミカルバイオロジー研究室は、大学院生命農学研究科および農学部において生命現象を対象とした有機化学、ケミカルバイオロジーに関連する教育を担当しています。また、生物活性物質の新たな作用機序や、物質レベルでは未知の生物現象の解明に挑戦し、医薬品開発につながる画期的なリード化合物の創出を目指した研究を推進しています。 本助教（テニュアトラック）公募では、上記に関連した研究分野で優れた研究業績を挙げつつあり、当該研究室および専攻のさらなる発展に貢献できる人物を求めます。さらに、大学院・学部における教育（有機化学分野の実験実習を含む）と研究指導に強い熱意を持ち、管理運営に責任感と協調性をもってあたる人物が望まれます。 【担当する業務】 ・生命農学研究科の運営に関連する業務 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究 <担当授業科目> (1) 大学院 ・博士前期課程：ケミカルバイオロジー特論、生命農学演習、修士論文研究等 ・博士後期課程：博士論文研究 (2) 学部 ・応用生命科学実験実習、専門セミナー、卒業論文研究等

		※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。	
		[勤務地]	愛知県名古屋市千種区不老町
		[募集人員]	助教(テニュアトラック)・1名
		[着任時期]	2024年4月1日以降早い時期(応相談)
4	募集研究分野	大分類	複合領域(生体分子科学)、農学(農芸化学)
		小分類	生物分子化学、ケミカルバイオロジー、生物有機化学
5	勤務形態	常勤(テニュアトラック) 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者、または着任までに取得予定の者 ・天然物化学、ケミカルバイオロジーおよびそれらの関連分野の研究業績を有する者 ・有機化学分野の実験実習を担当できる者 ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者	
7	待遇	[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応募期間	2023年8月1日～2023年9月29日(日本時間17:00必着)	
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法(提出書類の送付先)] (1) 応募する旨を明記した書類(応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む) (2) 履歴書(様式任意) (3) 研究業績リスト(原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。) (4) 現在までの研究の概要(1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと) (5) 今後の研究に関する計画と抱負(1,000字程度)	

	(6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（800 字程度） (7) 大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（400 字程度） (8) 過去の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費を明記のこと） (9) その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項） (10) 類型該当性の自己申告書と類型該当判断のフローチャート https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html から様式をダウンロードして作成すること。「10. その他」欄を参照のこと） (11) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス (12) 論文等の PDF ファイル（主要なもの 5 編以内） ・上記の提出書類 (1)～(11) を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイル (12) とともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP 形式）フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。 ・メールのタイトルは「助教応募書類（氏名）」としてください。 ・ファイルサイズは全体で 60 MB を超えないようにしてください。やむを得ず超えてしまう場合は、複数のメールに分割し、その旨を明記してください。 ・応募締め切りの 1 週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。 書類の送付先アドレス（電子メール）：koubo-cb[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。） [問合せ先] 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻 天然物ケミカルバイオロジー研究室 助教選考委員会委員長 北 将樹 電子メール：mkita[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。 ※その他の問合せについても、委員長宛に電子メールにてお願いします。
	[選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。

10	その他	・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分します。
----	-----	--